

すごい広島 Japan

第1版

すごい
Hiroshimaの本



我

Great Hiroshima 著
すごい広島 訳

すごい Hiroshima の本

すごい広島 著

2014-09-20 版 すごい広島 発行

目次

第 1 章	すごい広島とは	1
1.1	すごい広島の概要	1
1.2	すごい広島の目的	3
第 2 章	すごい広島のルール	5
第 3 章	すごい広島のはじまり	9
第 4 章	すごい広島の成果	11
4.1	すごい広島 2.0	11
4.2	5374.jp For 広島	11
4.3	ヒロハタを勝手に応援するサイト	13
4.4	とある我馬の非公式	14
4.5	すごい Hiroshima の本	14
第 5 章	すごい広島の秘密	16
5.1	参加者情報の生成	16
5.2	すごい広島の API	16
5.3	すごい広島コマンドラインツール	17
第 6 章	私のすごい広島	18
6.1	@eiel	18
6.2	もっともコミット数の多いあの人	18
6.3	我馬好きのあの人	19
6.4	とある広島の Haskeller	19
6.5	すごい広島 in 東京してるあの人	19
6.6	GitHub を広める会の誰か	19
6.7	岡山在住の誰か	19
6.8	とあるわんこさん	20
すごい広島の統計情報		21
コミット		21
コードの増減		21
主な活動時間		22

主な貢献者	23
すごい広島に参加者	24
参加者一覧	24

第1章

すごい広島とは

「すごい広島」とは何か、どうして行うのか。

「**すごい広島**」は、広島市で行なわれている IT エンジニアのためのミートアップです。毎週水曜日の 18 時から 21 時に行なわれていて、IT エンジニアだけでなく、Web 系デザイナーや情報系の学生も参加しています。

1.1 すごい広島の概要

すごい広島では、みんなが集まる場所としてコワーキングスペース **MOVIN'ON** を利用しています。

すごい広島には参加ルールがいくつかありますが、基本的には自由です。参加者は自分がやりたいことをやります。もくもくと作業をしたり、他の参加者と会話をしたりすることになります。

すごい広島に参加することのわかりやすいメリットを上げるとすれば、

- コワーキングスペースの利用体験ができる
- **GitHub** の利用方法を学べる

の二つがあります。

個々が自由に過ごしていて、どんなメリットがあるのかわからないかもしれません。しかし、すごい広島に継続的に参加していれば、もっと大きなメリットを見つけることができるかもしれません。そんな場所がコワーキングスペースであり、IT エンジニアのミートアップです。

忙しくて参加できない場合でも、オンラインで参加する、エア参加という参加方法も用意しています。

コワーキングスペースの利用体験ができる

すごい広島の開催時間内では、参加者であれば、コワーキングスペース **MOVIN'ON** の利用料金が無料になります。これは「すごい広島」のすごい広島の参加者分をまとめて支払いして実現しています。会場には、すごい広島の参加者がいますので、仮想的にコワーキングも体験することができます。コワーキングスペースをまだ利用したことがないという方は体験する良い機会になると思います。

GitHub の利用方法を学べる

もうひとつのメリットとして、プログラミングやウェブサイトを作成する人たちの必須のウェブサービスになりつつある GitHub の利用方法を学ぶことが上げられます。すごい広島の参加条件として GitHub を利用することが含まれています。少し難しく感じるかもしれませんが、ウェブブラウザの操作だけでも参加することが可能です。

エア参加という参加方法

開催時間である 18 時から 21 時の間であれば自由に入退出することが可能です。実際には会場には行かずに好きな場所で、すごい広島に参加するエア参加という方式も可能になっています。この場合は、Twitter や GitHub などを通して参加者同士のやりとりを行います。

コラム: ミートアップ

ミートアップはインターネットで告知を行い、共通の関心事を持った人が集まるオフ会のようなものです。IT に限らず行われていますが、活発な IT コミュニティではこの形態の勉強会が定着していることも多いです。

IT 勉強会は、手を動かしてみんなで同じものを作成したり、講師からの話を聞いたりするものだと思っている方もいらっしゃいますかもしれませんが、IT 勉強会に参加する人はそれぞれが得意な技術をもっているため、それぞれが持つ技術の情報交換をするだけでも、高い学習効果を得られる場合があります。

すごい広島では気軽に参加できるように会場費の無料化や毎週行うことで参加できる可能性を高くする工夫をしています。

コラム: コワーキングスペース

コワーキングスペースはコワーキングを行うための場所です。

コワーキングとは、事務所のスペースを共有して、独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指します。シェアオフィスと違う点は個室ではなくオープンスペースになっているところです。イベント会場として使われることも多くコミュニティの活動の場としても利用されています。

広島市内のコワーキングスペースには

- MOVIN'ON <http://coworking-hiroshima.com/>
- ShakeHands <http://www.shakehands.jp/>
- FLAGS <https://www.facebook.com/flags.hiroshima>
- port.inc <http://www.port-inc.jp>

などがあります。

コラム: GitHub

GitHub はソフトウェア開発のためウェブサービスで、Git というバージョン管理システムのホスティングを行っています。

GitHub は多くのオープンソースソフトウェアで利用されていて、なくてはならないものとなっています。アプリケーションやコンピュータプログラムの作成にはソースコードと呼ばれるものから生成されます。このソースコードを以前の状態を確認したり、どのように変更したかを確認したりすることができます。

GitHub はバージョン管理の枠を越えて開発者同士が情報を共有し、交流する場にもなっています。そして、ソーシャルネットワークならぬ、ソーシャルコーディングという概念を作り上げました。

ソフトウェアは日々の変化に対応しなければなりません。新たな要望への対応、不満への対応、セキュリティ問題へ対応にソフトウェアは対応していく必要があります。たくさんの人々が協力して変化への対応をしていくのを支えているのが現在の GitHub です。

しかし、GitHub は英語のウェブサービスです。すごい広島では、このソーシャルコーディングを気軽に体験するための場にもなっています。

1.2 すごい広島の目的

すごい広島は

- 気軽に技術者が交流する場所の提供
- GitHub に馴れる
- 地方の情報発信力の向上

を目的にしています。

概要で説明しましたが、すごい広島の目的を普段伝える場合は、「技術者の交流の場を提供すること」ということが多いです。また、GitHub に馴れることも概要で説明しました。

運営側の中での目的として地方の情報発信力を向上したいという目的があります。

地方の情報発信力の向上

インターネットに存在する技術的な情報は実際に住む場所に関係なく存在します。しかし、目につく記事の多くは東京近郊で情報発信されているものが多いです。人が集中しているため当たり前の話ではありますが、本当にそれだけなのでしょうか。人が少ないと言えども、有益な情報は地方にいる人だって発信しています。発信している人はそのメリットや持続して行う力を持っています。しかし、その伝搬力にはなぜか違いがあります。

伝搬力は、SNS を使った拡散力と大きな関係があります。顔を見て話したことのある情報は拡散力が強いです。同じ嗜好を持つ人たちが集まることで情報の発信力は向上します。

すごい広島ではもっと有益な情報を発信できる人を発掘、育成しようというのも裏の目的になりますが、目的のひとつになります。向上した情報発信力で、「広島はすごそうだな。ちょっと遊びにいきたい」となるとなお良いと考えています。

情報があるところに人は集まる

情報発信力が向上するとどんなことが起きるでしょうか。情報というのは情報を発信する人に集まる傾向があります。例えば、ブログを書いていけば、コメントが集まります。良い記事を書けばたくさんさんの反響を得られます。また、間違ったことを書いてもコメントが集まる場合があります。結果的に良い情報が集まる場合もあります。このように情報は情報のあるところに集まります。何もしないより、何かするほうが情報が集まります。情報があるところには人がそこに集まります。そうすると実際に人が集まるところができます。そこから技術的交流ができて、交流から相乗効果が生まれることが期待できます。

広島なんかすごそう

そうして、みんなの情報発信力が高くなると「広島がすごそう」という雰囲気が出せます。ちょっとハタハリみたいなものかもしれませんが、オープンソースカンファレンスのようなユーザコミュニティの大きなイベントが開催される際には「広島にってみようかな」と思う人も増えます。そして、顔を合わせて話したことがある人が増え、さらなるつながりが増え、技術的に盛り上がっていくことを期待できます。すごい広島を運営していくうちに、「なんだ、また広島かよ」「広島やばい」といった声が自然と聞こえてくるようになって嬉しいです。

コラム: LT 駆動開発

広島には LT 駆動開発という勉強会が開催されています。

この勉強会は「勉強会でもっとも勉強になる人は発表者だ」というのを理論を応用して、勉強しようという勉強会です。この勉強会は発表する機会を増やしています。LT というのは「ライトニングトーク」のことで、5分から10分程度の短いプレゼンテーションのことです。

発表者になると発表することを相手にわかりやすいように考えをまとめなおすため、発表することに対して、より理解を深めることができます。また、説明しようとしたときに、間違ったことを言わないようによく検証を行うため、自分の勘違いに気付くこともできます。さらに、聴衆からの質問があれば、自分では気づかなかったことに気づくことができます。発表することは学習を効果的にすることのひとつと言えます。

すごい広島の参加者の多くは、すごい広島での成果や普段の成果を発表をする場として利用しています。この勉強会は毎月第一土曜日に行われています。詳細は下記の URL を確認してみてください。

- <http://ltdd.doorkeeper.jp/>

第2章

すごい広島のルール

すごい広島に参加する上で、3つのルールが設けられています。

- すごい広島内でやることを宣言すること
- すごい広島でしたことを Web 上にアウトプットすること
- アウトプットしたことを「すごい広島」のサイトに載せること

MUST ではありませんが SHOULD です。

やることを宣言する

参加している「すごい広島」の中で、自分がやることを宣言することになっています。宣言する場所は GitHub の Issues です。GitHub にはグループのような機能である Organization があり、そのグループの中に複数のリポジトリがあります。リポジトリのひとつひとつに Issues があり、すごい広島のウェブサイトのリポジトリの中にある Issues に宣言します。

GitHub の Organization

GitHub には「すごい広島」というグループが作られています。これは GitHub の Organization という機能を使うと作ることができます。すごい広島のグループの英名は great-h です。Organization は複数のリポジトリをもつことができます。

GitHub のリポジトリ

リポジトリはプロジェクトのようなもので、プロジェクト単位に作成します。

すごい広島には複数のリポジトリが作られています。すごい広島には great-h.github.io というリポジトリがあります。このリポジトリは <http://great-h.github.io/> というウェブサイトのためのものです。グループの名前が great-h なので、リポジトリ名と合わせて great-h/great-h.github.io と書いてリポジトリを表現することがあります。

このリポジトリはすごい広島のウェブサイトの中身です。このリポジトリの中身を書き換えるとすごい広島のサイトも対応した箇所が変更されるように設定してあります。

GitHub の Issues

GitHub の Issues という機能について説明します。前述の通り、この機能はリポジトリごとにあります。

Issues はバグやタスクを管理するための機能で、何か問題を見つけたり、追加したい新機能を書き込みをする場所です。すごい広島では、やることを宣言するために、Issues を利用しています。

バグやタスクを報告するには Issues の中に Issue を作ります。Issue を作るにはタイトルと本文が必要になります。他にもオプションで、

- ラベル
- マイルストーン
- アサイン

を設定できます。

ラベルは Issue がどんな種類なのか分類するための機能です。タグといわれる機能と等価と考えることもできるでしょう。マイルストーンは節目を表すものです。マイルストーンは「次のリリースはこのマイルストーンに設定した Issue を全部消化したら公開する」のような使い方をします。

Issue を使ったやること宣言

さきほど紹介した Issue を作成し、その日の「すごい広島」のやることを書きます。great-h/great-h.github.io のリポジトリの Issues を利用します。宣言する内容には特に制限はなく、その日に終わらなくても構いません。仕事でもよいし、自分が勉強したいことでもよいです。

作成したら、ラベル、マイルストーン、アサインの設定します。ラベルは「やること宣言」というのが用意されていますので、これを設定します。現地にいない場合は「エア参加」というラベルを用意しているので、これを使ってください。マイルストーンは日付を元に作成していて、2014年8月23日であれば20140823というマイルストーンを設定します。最後にアサインは自分を設定します。

注意点があります。はじめての場合はラベルやマイルストーンは設定できません。リポジトリへのアクセス権限が付与されていないためです。やること宣言をすれば、スタッフの人がリポジトリへのアクセス権限を追加してくれますので、利用できるようになります。

以上がやること宣言です。

ウェブ上にアウトプットする

やることを宣言したので、あとは自由に過ごします。自由に過ごしていただいて構いませんが、自分が考えたこと、学んだことを忘れても大丈夫なようにウェブ上に残してください。これは簡単なように見えて意外と難しいです。時間内で、できることを考えて、まとめられる範囲を意識しつつ無理のないようにやるのが大切です。

負担が少ないやり方をひとつ紹介しますと、Twitter に書き込みして Together などのサービスを使いツイートを集めたり、やること宣言の Issue にコメントしてかきこむなどの方法があります。もちろん、時間をかけてブログ記事を書いても構いません。

すごい広島の目的の中に情報発信力を向上するというものがあったと思います。運営側の都合ですが、学習効果も上がるのでぜひ挑戦してみてください。

すごい広島のサイトに成果を掲載する

ウェブ上にアウトプットしてもらったので、アウトプットした内容がどこにあるか他の人にもわかるようにします。すごい広島は各回に専用のページがありますので、そこからリンクを貼ります。そのためには、すごい広島のウェブサイトを変更する必要があります。GitHub のプルリクエストを使うと「すごい広島」のウェブサイトを更新することができます。

Pull Request をする

すごい広島のウェブサイトを更新するには、??のファイルを変更する必要があります。実は直接変更することもできますが、GitHub の Pull Request という機能を使って行ってください。Pull Request というのは、「私はこのファイルの内容をこのように変更したい。どうでしょうか。問題なければ利用してください」というお願いをすることです。アウトプットした情報へのリンクを追加したものを用意して、「これを追加してください」とお願いすることになります。

変更するファイルは_post ディレクトリにあります。2014 年 8 月 27 日の 67 回の場合は_post/2014-08-27-event-067.markdown というファイルを編集します。参加登録をしている場合は、自分の名前がすでに書き込みされているはずで、そのすぐ下に、リンクを追加します。

ファイルの拡張子をみればわかりますが、マークダウンという形式で書かれています。書き方がわからない場合は他の人の書き方を参考にしてみてください。

コラム: すごい広島で効率よく学習するには

すごい広島に参加すると本当に勉強になるのでしょうか。それは参加する人次第です。ただ、はっきり言えることですが、独りで学習するほうが効率が良い場面はたくさんあります。周りに話す人がいれば、気は逸れますし、わざわざ交通費を払ってまで参加する価値があるのでしょうか。

しかし、独りで学習するのは、いつでも自分で選択して時間を確保することができます。すごい広島の時間は誰かに教えてもらったり、質問したりすることができる時間と考えることをおすすめします。プログラミングで初めてのことに挑戦すると、ときどき後から思えば簡単だったことに時間を取られてしまうことがないでしょうか。もし経験者に聞くことができれば、あっという間に解決することがあります。解決しない場合もあるかもしれませんが、誰かが解決してくれる可能性が高まります。

すごい広島で効率よく学習するには、他の人が得意なことで自分が挑戦したいことを学習すると効果的に時間を使うことができます。また、教える側になることも非常に勉強になりますので、教える側になったり、気軽に質問してみましょう。

最後になりますが、学習するには、継続することがとても大事です。毎日 3 時間勉強することを三日坊主になると 9 時間の勉強時間ですが、1 週間に 1 時間勉強することを 1 年間続けることができれば 50 時間勉強することができます。これを 20 年、30 年続けることができれば非常に長い勉強時間を確保することができます。1 日 1 時間何かを続けることができれば 365 時

間もの時間になります。小さなアウトプットを続けることができれば、なんでもないような些細なアウトプットがきっと**すごい**ことになっているでしょう。

第3章

すごい広島のはじまり

すごい広島は2013年5月22日にスタートしました。すごい広島の誕生の話をするにはもう少し時間を遡る必要があります。すごい広島は元々2013年4月ごろに「すごいHaskellを楽しく学ぼう」読書会のハッシュタグとして登場しました。「すごいHaskellを楽しく学ぼう」の略称は「すごいH本」として知られています。よく見てください。Haskellも広島もなんとイニシャルがHなのです。そう「すごいH本」は「すごいHiroshimaの本なのです。そうやって「すごい広島」という言葉が誕生しました。

しかし、この「すごいHaskellを楽しく学ぼう」読書会は企画だけで、実際には開催されることはありませんでした。Haskellというのはプログラミング言語のひとつで、プログラミング言語の中でも利用者が多いとは言えないものでした。広島という狭い世界では、開催に至るほどの参加者を集めることはできませんでした。結果、#すごい広島 のハッシュタグはそのまま消えていく運命かと思われました。

ところで、隣の岡山では毎週開催される Okayama.rb が存在したり、東京でも毎週行なわれる Asakusa.rb など毎週 IT 勉強会に分類されるミートアップが開催されていました。ある時、「広島でも毎週行われるようなミートアップがあってもいいのではないか？」という話が浮上しました。Haskell の失敗もあり、特にジャンルを絞らずに、誰でもいいから集まれる人が、毎週集まってみてはどうだろうか。しかし、「テーマもなく適当に集まっても意味がないのでは？何か付加的な価値は？」という問題があり悩みました。そこで目を付けたのがソーシャルコーディングを提供する GitHub でした。

「広島のみんなは GitHub が使えるのを当たり前の世界を作ろう」そうしてすごい広島は企画されていきました。「GitHub をもっと活用するには？活用してみたいと思う人がいるのでは？」と考えたのです。GitHub を活用するには、何かプログラムを作成しなければいけないという殻を破るために、参加者が GitHub で運営されるイベントのページを更新する仕組みを考えました。それに加えて、広島の技術系の人でブログを定期的に行っている人が少ないという問題がありました。これを解決するためにも、参加した人はブログを書くことを強制してみるというアイデアも誕生しました。

そこまで考えた @eiel さんが「すごい広島」というイベントを @CentBoss さんと @Toro_kun に提案したところ、話がトントン拍子に進みました。一般的には定時日である水曜日を狙い、すごい広島の提案3日後には「すごい広島」が誕生するのです。

そうして、すごい広島は「広島の人みんなアウトプットしてる」「広島の人みんな GitHub の

使い方を知っている」世界を目指して羽ばたきはじめました。

コラム: ブログは書かなきゃいけないの?

はじめた当初はブログを書くことが参加条件でした。しかし、毎週参加する人がいて、時間内にブログを毎週書くことはかなりの負担であることがわかりました。そのため少しずつルールが緩和されました。現在ではブログを書くことは必須でなくなりました。

ブログを毎週書くことは本当に大変なことのなので、必須ルールではなくなりましたが、一度挑戦してみてください。ブログを定期的を書くことはとてもチカラになります。

コラム: すごい Haskell を楽しく学ぼう

「すごい Haskell を楽しく学ぼう」という書籍がすごい広島の語源となっています。「おいしい広島」というものがありましたが、こちらにも少し乗った形になっています。

「すごい Haskell を楽しく学ぼう」はプログラミング言語 Haskell の入門書で、これまでの Haskell の入門書に比べて非常に楽しく読める構成になっています。これまでの Haskell の入門書は数学者が読むような形式の本が多かったのですが、この「すごい Haskell を楽しく学ぼう」は違ったのです。

コラム: Haskell

Haskell はプログラミング言語です。純粋関数型言語に分類される少し珍しい言語です。プログラミング言語としては、他の言語には、まだないような先進的な機能を持っています。C++ に追加されている機能の多くに Haskell の影響を受けたものもあるそうです。

数学に裏づけられた機能や、数学的な記法に似せて作られている部分も人気の理由かもしれませんが、馴れるとあまり深く考えなくても良いプログラミングができて、とても怠惰な言語でもあります。

すごい広島と Haskell の関係は名前以外にあまりないように思うかもしれませんが、すごい広島を運営するための便利なツールの一部は Haskell で制作されています。よかったら覗いてみてください。

第4章

すごい広島の実績

すごい広島では、毎週水曜日の活動とは別に勝手に気ままにすごい広島の成果としていろんなことをしています。また、この活動をすごい広島 2.0 として活動しています。

4.1 すすごい広島 2.0

すごい広島はひろしま発人材集積促進プロジェクト (ヒロハタ) に参加しています。この時に、本来のすごい広島の活動であるミートアップから外れた部分の活動を**すごい広島 2.0** と命名しました。

すごい広島 2.0 は「広島をよりすごく見せる」というのが主な活動です。すごい広島で身に付けた技術を生かして、広島をすごくするのがすごい広島 2.0 なのです。

これまでの成果を紹介したいと思います。

- 5374.jp For 広島
- ヒロハタを勝手に応援するサイト
- とある我馬の非公式
- すすごい Hiroshima の本

4.2 5374.jp For 広島

5374.jp は「いつ、どのゴミが収集されているのか？」を簡単に調べることができるウェブサイトです。このウェブサイトは Code For Kanazawa という団体が作成しています。

コードで、世界を Happy に。

Code for Kanazawa (CfK) は、IT やデザインので、私たち市民の生活が今よりも良くなることを目指します。私たちは地域の問題を見つけ、シンプルで具体的な解決方法を開発します。

この 5374.jp はゴミの収集日のデータをボランティアを募り作成されています。はじめは金沢市向けのものでしたが、プログラムのソースコードが公開されているため、各都市のゴミの収集日を自分達で集めれば自分達の使える 5374.jp を作成することができるのです。

すごい広島では、広島市バージョンを作成しました。

- 5374.jp for Hiroshima <http://hiroshima.5374.jp/>



図 4.1 5374.jp for Hiroshima

ゴミの収集日の情報は広島市によってウェブサイト公開されています。この情報を解析して5374.jpで利用できる形式に変換するプログラムを作成することで、広島市バージョンを作成しました。

広島市のサイトを解析するプログラムはGitHubに公開されています。

- great-h/5374-csv-generator-in-hiroshima
– <https://github.com/great-h/5374-csv-generator-in-hiroshima>

また、広島版の5374.jpもGitHubに公開されています。

- great-h/5374 <https://github.com/great-h/5374>

金沢市のもよりも情報が多いため多少の変更がされています。変更されている部分を少しだけ紹介します。

オリジナルの 5374.jp では地域を選択すると、その地域の情報が表示されます。広島市の場合は区を選択してから、地域を選択するように変更点しています。広島市は金沢市に比べて区分が非常に多く自分の住んでいる場所が難しくなっていました。区を先に選択してある程度絞り込みをできるようにすることで、利便性を向上させました。

もうひとつは、ゴミの種類が多いため配色を変更しています。バランスの良い配色をするためにデザイナーに協力を求めて作成しました。

4.3 ヒロハタを勝手に応援するサイト

ヒロハタは広島県が行う事業です。正式名称は「ひろしま発人材集積促進プロジェクト」です。

広島県では、イノベーションの原動力となる多様な人材の集積を図る観点から、人を惹きつける力のある優れた人材を指導者として、県内外の人材が参加し、自らのアイデアの実現できるプロジェクトを実施します。

また、参加者が県内に定着、活躍できる仕組みを構築し、多様な人材の集積を促進します。

ヒロハタでは参加者同士の交流が相乗効果を起せることも狙っているということで、すごい広島ではその手伝いがないか考えてみました。そこで、各参加者の活動情報を集め要約を勝手に作成することで、見える化をすることにしました。それが「ヒロハタを勝手に応援するサイト」です。

- ヒロハタを勝手に応援するサイト <http://great-h.github.io/hirohata/>

このサイトは毎週月曜日に更新予定です。

参加者の活動が見えるようになることで、誰が何をやっているかがわかるようになります。活動している人がいることがわかると負けじと行動をする人もいますし、自分が手伝えることを自分で考えて行動することもできます。

このサイトの仕組みは、はじめにヒロハタの参加者が運営する Facebook Page やブログから一週間分の情報を集めます。次に集めた情報を閲覧し、人間の手で修正します。あとは記事として公開します。

一週間分の情報を集めるための部分はプログラムを作成していて、GitHub に公開しています。

- great-h/hirohata-reporter <https://github.com/great-h/hirohata-reporter>

情報源の登録には config.yml にしています。

```
targets:
- name: "ヒロハタ"
  url: "http://hiro-hata.com/"
  sources:
  - type: rss
    url: "http://hiro-hata.com/rss"
  - type: facebook
```

```
url: "https://www.facebook.com/feeds/page.php?id=619180321492100&format=rss20"
```

この例ではヒロハタというチームの情報元は RSS と facebook があり、その情報の URL を設定できるようになっています。

またウェブサイト自体のリポジトリも GitHub に公開しています。

- great-h/hirohata <https://github.com/great-h/hirohata>

4.4 とある我馬の非公式

すごい広島は「我馬」というラーメン屋を応援しています。

我馬というラーメン屋のウェブサイトは更新情報を配信するフィード配信が行われていません。そこで、すごい広島では勝手に我馬というラーメン屋のウェブサイトのフィードを配信するサイトを作成しました。

それが「とある我馬の非公式 (ファンサイト)」です。

我馬というラーメン屋は季節のラーメンという期間限定のラーメンを食べることができます。この期間限定のラーメンはおよそ 3 ヶ月に一度新作のラーメンが登場します。新たに作成されるにも限らず、その季節のラーメンで新しいラーメン屋が作れる可能性を秘めたものが度々登場しています。

この季節のラーメンの情報をいち早くキャッチするためにもこのウェブサイトをはじめました。季節のラーメン以外にも店舗限定のラーメンなどあって我馬の情報は一瞬足りとも見逃せません。

* とある我馬の非公式 (ファンサイト) <http://gaba.eiel.info/>

4.5 すごい Hiroshima の本

この書籍のことです。略称はすごい H の本です。

この本はすごい広島のことをまとめるために作成されました。

この本は Re:VIEW(<https://github.com/kmuto/review>) というツールを利用して作成されています。Re:VIEW は HTML のようにマークアップをして、文章に意味付けを行うことで書籍を作成します。Re:VIEW を使用すると ePub や PDF、InDesign で利用される (IDGXML)、gihyo.jp 独自のマークアップ言語 Inao などに変換することができます。

この書籍の作成には Wercker というサービスを利用して継続的デリバリーというものにも挑戦しています。Wercker は書籍の作成ツールとは関係ないツールであることに注意してください。

Re:VIEW という形式で書かれているため、実際に書籍とした形にするには ePub や PDF のような形式に変換する必要があります。この変換作業を本の修正案が提案される度に自動生成するようになっています。

この生成作業は Wercker で行なわれます。作成された書籍はウェブ上にアップロードされます。アップロードされたファイルは 1 週間経過すると自動的に削除されます。これは Amazon S3 というサービスを使って実現しています。

もし修正案に問題がない場合はすごい広島の最新版として採用され、次の最新版が生成されるまで残ります。この最新版はすごい Hiroshima の本置場からリンクが貼られており、誰でもダウンロードが可能な状態になっています。

* すごい Hiroshima の本置場 <http://great-h-book.eiel.info/>

すごい広島では、新しいことに挑戦し、それを目に見える形に残し続けています。

第 5 章

すごい広島秘密

すごい広島に関する雑多なことを紹介します。

5.1 参加者情報の生成

すごい広島は Doorkeeper というウェブサービスで事前申し込みを受付します。このウェブサービスで申し込みをしておくと、すごい広島のイベントページに自動的に参加者情報が記述されるようになっています。

この自動の生成は毎週水曜日の 17 時ごろに行なわれます。

Doorkeeper では Twitter, Facebook, GitHub, Linked in のアカウントで認証することができます。すごい広島のサイトに参加者の情報を記述する際には GitHub, Twitter, Facebook, Linked in の優先順位で利用するようになっています。

GitHub で認証していれば、GitHub の表示名を表示し、プロフィールへのリンクになります。GitHub で認証していなければ、Twitter の情報を...となります。

このルールに沿わずに自分好みの設定をする方法も用意してあります。

すごい広島のリポジトリには `users.yml` が用意されていて、このファイルに情報を記述することで好みの設定をすることができます。現在の設定はこのようになっています。

```
eiel:
  name: eiel
  url: http://eiel.info/
Torokun:
  name: Toro_kun
  url: https://twitter.com/Toro_kun
Nyoho:
  name: Nyoho
  url: http://nyoho.jp/
```

5.2 すごい広島の API

すごい広島には WebAPI が提供されています。

- GET `http://great-h.github.io/event.json`

この API は次回のイベント番号と日時、開催場所を返します。出力は以下の通りです。うまく利用してアプリケーションを作成してみてください。

```
{"no":70,"datetime":"2014-09-17T18:00:00+09:00","place":"Movin'on"}
```

5.3 すごい広島コマンドラインツール

すごい広島のコマンドラインツールも開発されています。2014年9月現在の時点では Mac OS X のみのサポートとなっています。

開発中のためバイナリ配布はまだされていません。ソースコードを取得してコンパイルする必要があります。すごい広島のコマンドラインツールのコンパイルには Haskell Platform(<https://www.haskell.org/platform/>) のインストールが必要です。Haskell Platform をインストールしている状態で、

```
$ git clone git@github.com:great-h/great-h.git
$ cd great-h
$ cabal install great-h
```

とすることでコマンドラインツールをインストールすることができます。

現在はすごい広島のサイトをブラウザで表示する `open` サブコマンドのみ実装されています。

```
$ great-h open
```

第 6 章

私のすごい広島

ここでちょっと趣を変えて、テーマは「私のすごい広島」で、参加者のみんなに寄稿 (奇行?) していただきました。どうぞお楽しみください。

6.1 @eiel

こんにちは。首謀者 X です。

軽いノリではじまり、いまもなお、続いている「すごい広島」です。「今どき、バージョン管理してないの? してないと一緒に仕事できないよ」そんな思いで「広島の人みんな GitHub 使えるんだよ」みたいな空気になるようにするために継続しているというのが「私のすごい広島」です。 #知らんけど

この電子書籍なのですが、継続的デリバリーとかその辺の経験値を溜めるためだったり、Re:VIEW を使ってみただとかそういう裏があるそうです。もちろん GitHub で運用されるので、参加したい人はプルリクエストを送るだけです。

いままでもすごい広島の中でいろんなことを試してきました。毎週行うことも極力違うことをすることで「こんなものがあるんだ」なんて思ってもらうようにしたり工夫をさりげなくしています。そう「私のすごい広島」は新しい実験や挑戦をするところなのです。

6.2 もっともコミット数の多いあの人

オッス。はじめてましての人、はじめまして。お久しぶりの人、ちょー久しぶりです。なんだこのラノベのあとがきみたいなノリはなんなんだ。そんなわけで @eiel さんの友人の A っす。

すごい広島で電子書籍を作ると聞いて「ひとつなにか書け」と言われてしまいましたのでひとつ書かせていただいております。

「私のすごい広島」ということですが、私はこの 1 年間すごい広島でもっともコミットが多い人らしいです。その数は 497 コミット。すごい広島はここ 1 年間で 914 コミットあるので、なんと 54.4% は私のコミットのようなです。わーお。

どうしたらコミット数がそんなに増やせるのかって? そりゃもう、上がってきたプルリクエストをひたすらマージしまくることさ。簡単だろう?

さあ、みんなも私のライバルになって、私の仕事を減らしてくれ。

6.3 我馬好きのあの人

私とすごい広島? そうだね... やはり、すごい広島の後の懇親会のようなものでいく我馬ですかね。我馬に行かずしてどこに行くのか。永斗麵ですよ。わかります。

そういえばこの本の表紙には我馬と書かれているそうです。おすすめです。

6.4 とある広島の Haskell

すごい広島? ああ、Haskell を書いている人が何人かいるからいいですよ。

Haskell は型システムがとても強力で先進的な機能が豊富でおすすめです。一度勉強してみてください。

6.5 すごい広島 in 東京してるあの人

どもどもーっ! 東京で「すごい広島」してる @eiel 氏の友人 M です。ちなみにコミットランキング第3位です。

久しぶりに現地参加したら「寄稿を寄稿して」と言われてしまいましたので、私もひとつ書かせていただきますね。

いやー本当に軽いノリで始まった、すごい広島も1年以上続いていて本当に嬉しいことです。何かやりたいことを宣言して、もくもくして、アウトプットするスタイルはやりやすいですよ。やってみたいことや調べてみたいことに集中して取り組めて良かったなーって思います。あとは懇親会の我馬とか、おっくん堂とか重要なポイントですよ。

自分は途中から就職して東京に行きましたが、東京からたまーにもくもくと活動しております。(本当にたまにだけ) 東京で「すごい広島」の活動をもくもくとしたい方はぜひご相談ください!

6.6 GitHub を広める会の誰か

みなさん GitHub をつかっていますか? GitHub になれてもらう最高のイベントを知っていますか。そう「すごい広島」です。

GitHub って英語でよくわからないですよ。正直な話、英語なんと読めなくても GitHub は使えるんです。そのあたりを「すごい広島」で馴れてもらえると嬉しいです。

GitHub もりたかです。

6.7 岡山在住の誰か

やっほー! 岡山でリモート参加したことがある @eiel 氏の友人 M です。

すごい広島のいいところは、なんととっても「リモート参加出来る」ってこと! 僕も何回かりリモート参加させていただきましたが、Github を上手く使って現地の人とコミュニケーション出来ていい感じです。

やること宣言を閉じ忘れるとメンバーからのツッコミがあるので、何かやりきりたい作業がある

時に活用するといいかもしれませんねw

また、岡山からリモート参加したいと思います！

6.8 とあるわんこさん

ア

キーン ラッカー といかんじだ...

この世の終わり

時間と情報がなかったために苦痛を伴う作業が発生してしまいア~~~~e2~~a4~~b4~~ef~~b8~~8e

アッ アッ アッ アッ

モモ

一生懸命牛になってると書き込むことで精神を安定させるのだ

すごい広島の統計情報

コミット

週あたりのコミット数の遷移です。

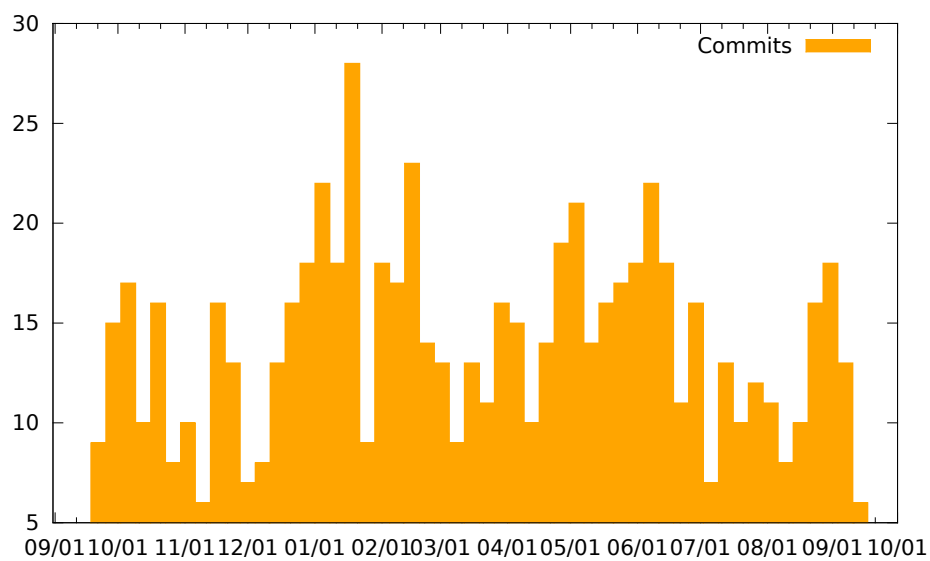


図 1 週あたりのコミット数の遷移

表 1 週あたりコミット

最小	6
最大	28
平均	13.88

コードの増減

コードの増減量です。

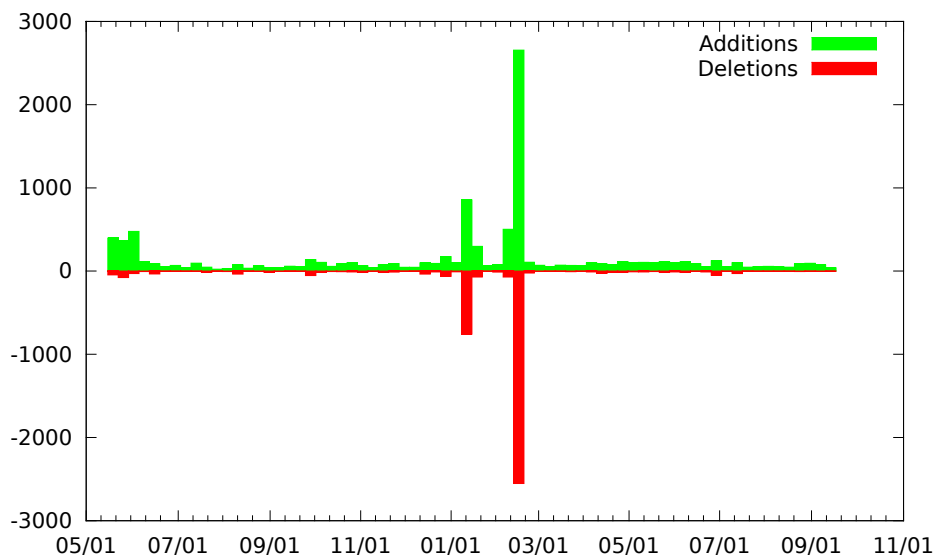


図2 コードの増減

2月末にある大きな変動はサイトの構築に Jekyll を使用していたのを Sitespec に変更したためです。

主な活動時間

水曜日の開催中の活動が活発です。

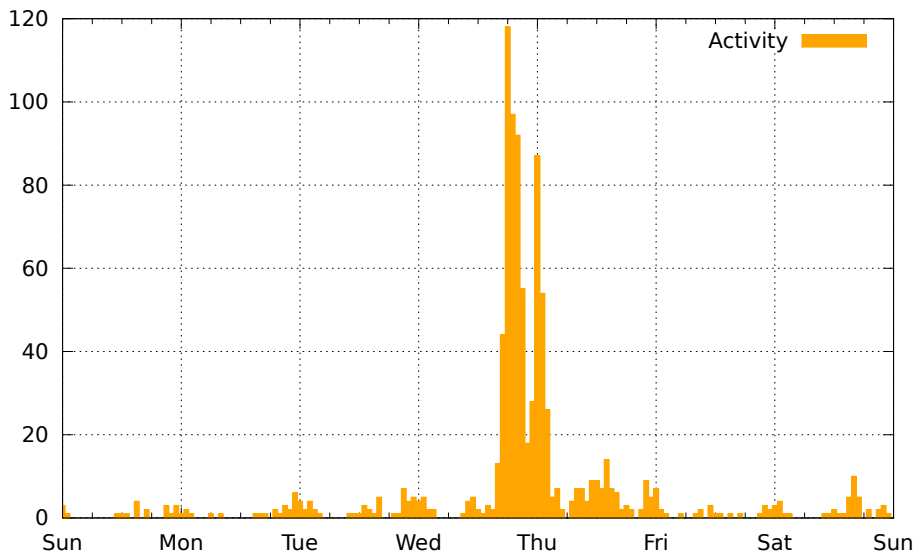


図3 主な活動時間

イベントが終了後に報告作業する人が多いため、木曜日深夜も非常に活発です。

前日や土曜日に追い込まれてから活動される方も少しいます。その代わり、日曜日はあまり活動がないです。

主な貢献者

ここ1年間のコミット数が10以上の方を表示しています。

1. 497 eiel
2. 60 Torokun
3. 44 moriC
4. 38 minamiyama1994
5. 30 nemumu
6. 27 Nyoho
7. 27 k2works
8. 27 fujioenoki
9. 22 tsuda-a
10. 20 furu
11. 14 yomoginn
12. 10 nishimotz
13. 10 yukilabo
14. 10 takata

すごい広島の参加者

すごい広島の参加者の一覧です。

参加者一覧

@Acto



@aka0803



@Akamikun



@akira345



akira345

@andromeda



@b211035



@coelacanth77



Makoto Nishimura

<http://coelacanth.heteml.jp/blog/>

@doraru-



@eiel



Tomohiko Himura

<http://eiel.info>

@ferretdayo



ふえれっと (Tomohiro)

@fujioenoki



fujio enoki

@furu



<http://tfrkd.org>

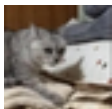
@h141



Hidenori ISHII

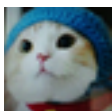
<http://www.h141.com/>

@hanapage



Hana

@hero5320



ueki kouji

@hoshikuzu



Nobuto Fujimoto

@houndci



Hound

<http://houndci.com>

@CHI-MICHI



@isabisi1484



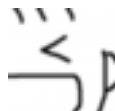
@k2works



Katuyuki Kakigi

<http://k2works.github.io/>

@kakenavi



@kamera25



Takahiro Nakaoku

<http://religion.indiesj.com/>

@kanro



@keishi3311



Keishi Miyata

@keitahiraki



Keita HIRAKI

@keziyajones



Koh Yamamoto

@kwcgch



kwcgch

@majosystems



あかぎたかし

<http://majosystems.com>

@makowis



Makoto Henmi

<http://mako-wis.hatenablog.com/>

@minamiyama1994



Masakazu Minamiyama

<http://b-world.org>

@miu811



Miu

<http://miu811.blogspot.jp/>

@moobay9



@moriC



Tomohiro Morishita

<http://moric.github.io>

@mrt-k



mrtc0

<http://mrt-k.hateblo.jp/>

@mrtetsuo



Yuji Shimizu

@nemumu



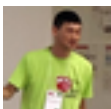
nemunemu

<http://nemumu.com>

@nezumiya



@nishimotz



Takuya Nishimoto

<http://nishimotz.com>

@nullpon16tera



kizzy tapy

<http://ga.nullppon.net/>

@Nyoho



北墓如法

<http://nyoho.jp>

@ogatomo



ogatomo

<http://blog.ogatomo.com/>

@onishida



@OtaniTakeshi



Otani Takeshi

<http://buturi.heteml.jp/student/2014/otani/index.html>

@ryoan



@ryosms



ryosms

<http://blog.livedoor.jp/ryosms/>

@s-rem



rem

<http://www.s-rem.jp/>

@saskilemonte



@sjuny



@spilca



@takanashi66



井上拓

<http://number-sign.net>

@takata



Yoshitake Takata

<http://www.takata.tk>

@Torokun



Kazuya Matsubara

<http://106n.net/toro/blog/>

@tsuda-a



tsuda.a

@uehaso



uehaso

<http://threevibes.com>

@Uemmra3



@watanabe1981



Isamu Watanabe

<http://www2.developpers.info>

@yasu7ri



yasu7ri

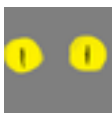
@ykumano



ykumano

<http://twitter.com/ykumano>

@yomoginn



@yoshikoyokko



@yoship



@yukilabo



@yuririn



@yycake



<http://halkload.org>

すごい Hiroshima の本

著 者 すごい広島
発行所 すごい広島

(C) 2014 すごい広島